

事業番号	02 08 07	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農村交流活性化支援事業費			担当課	部局	企画振興部	
総合5か年計画	プロジェクト	6-2-3 誇りある暮らし実現プロジェクト 2-2-5 農山村産業クラスター形成プロジェクト		担当課	課・室	地域振興課	
	施策の総合的展開	2-1 魅力ある地域の創造と発信 5 移住・交流の推進			E-mail	shinko@pref.nagano.lg.jp	
					実施期間	H14 ~	

1 事業の概要

目指す姿	グリーン・ツーリズムの推進や農林業体験等を活用した学習旅行の受入、「国際青少年農村交流宣言」の普及による都市農村交流の促進を通じて農山村の活性化を図る。 【成果目標】都市農村交流人口：(H22)546,544人→目標(H29)600,000人※長野県総合5か年計画、第2期長野県食と農業農村振興計画											
現状(予算編成時)	○農山村においては、担い手の減少や高齢化、地域における共同活動の低下などにより、自然豊かな農村の原風景や生活の営み(暮らし)の維持が困難になる地域が拡大。 ○都市住民においては、「自然の中で体を動かしたい」、「農林漁業体験をしたい」、「郷土料理を食べたい」、「景観を眺めたい」といった”ふるさと回帰志向”ニーズの高まり。 ○「長野県移住・交流推進戦略」(H24.3.16策定)において、グリーン・ツーリズム、児童生徒の教育旅行を推進戦略として位置付け、行政と民間の協働による全県的な取組を展開。											
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 ・県が民間、市町村と連携して広域的な取組を展開することで、相乗効果が期待できるため、県の関与は欠かせない。					県民との協働による実施： 検討中					
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H27) 都市農村交流人口 H27 580,000人(※過去の増加傾向等を元に設定)											
	② 事業内容 (単位:千円)											
	項目	実施方法	H27実施内容		H26(当初)	H27(要求) (予算案)						
	都市農村共生・対流総合対策事業	直接	※H27年度は移住交流推進事業の一環として実施		2,500	0 0						
国際青少年交流農村づくりの推進	直接	・農村ツーリズムの普及、推進に向けたシンポジウム等の開催 ・PRパンフレットの作成等		1,209	1,311 1,223							
				合計	3,709	1,311 1,223						
事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27要求	27予算案		成果目標の達成状況				
	前年度繰越							項目	H26末(見込)	H27		H28目標
	当初予算		3,400	3,709	1,311	1,223	都市農村交流人口	578,000人	580,000人	目標	成果	達成状況
	補正予算		0	0								
	合計(A)	0	3,400	3,709	1,311	1,223						
	一般財源		2,211	0	0	0						
	県債		0	0	0	0						
	国庫支出金		0	2,500	0	0						
	その他	0	1,189	1,209	1,311	1,223						
	決算額(B)		3,242									
概算職員数(人)		0.50	0.50	0.30	0.30							
概算人件費		4,129	4,129	2,477	2,477							
概算事業費(B(A)+C)	0	7,371	7,838	3,788	3,700							
指摘事項等への対応	(指摘事項等)					(対応)						
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善												
要求からの主な変更点	開催方法等を見直し、講師経費等について減額											